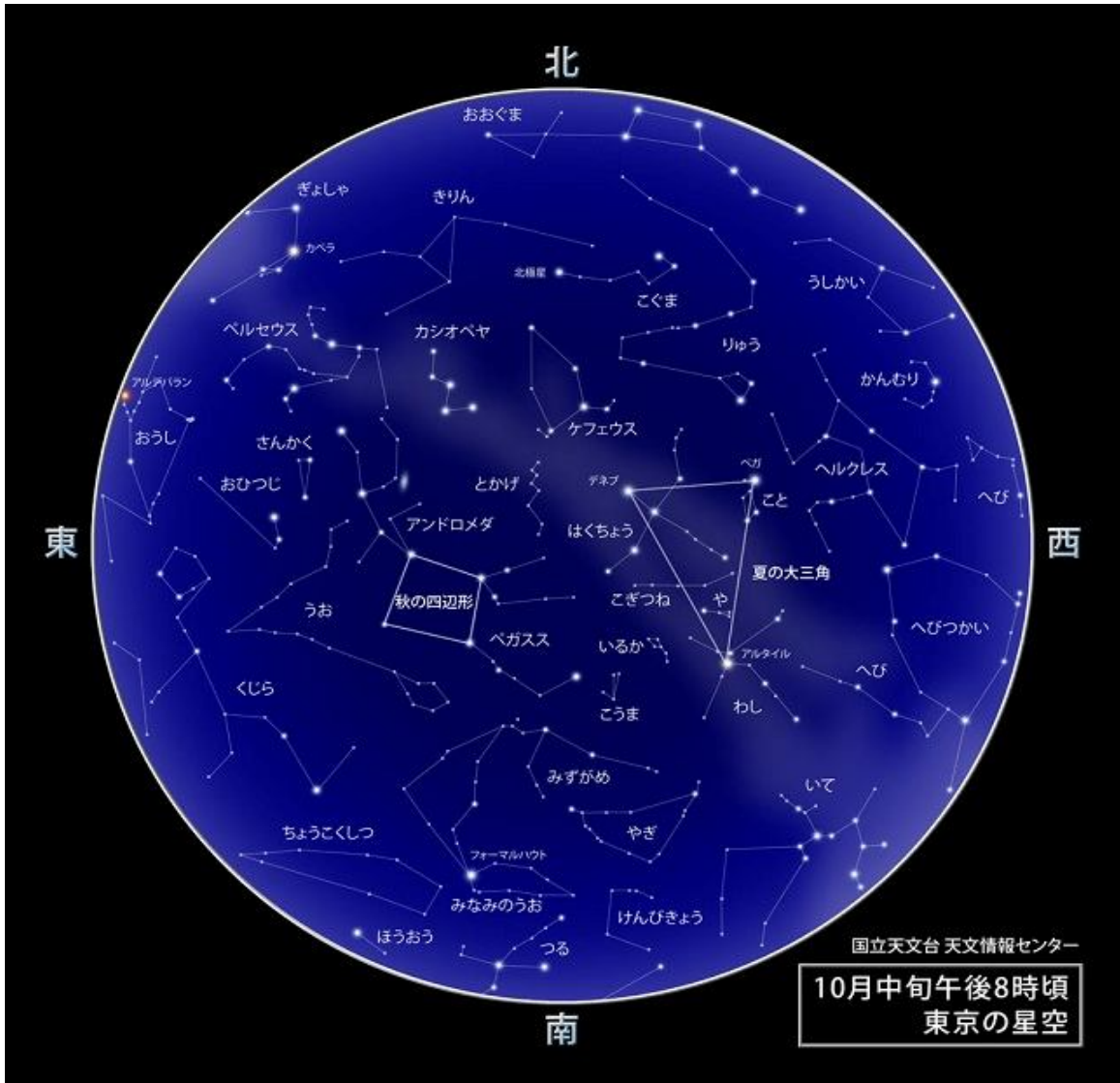


10月に入ってもまだまだ暑さが残るこのごろですが、季節は秋、夕方からは急に気温が下がり始めるので風邪に注意をしながら観望を楽しんでください。

さて、夜8時前後の星空ですが、西の空高くを見ると「こと座」の「ベガ」、「わし座」の「アルタイル」、「はくちょう座」の「デネブ」をむすぶ「夏の大三角」があります。



又、東の空の高いところには「ペガサス座」が見つかります。「ペガサス座」の星のならば、「秋の四辺形」や「ペガサスの大四辺形」ともよばれています。

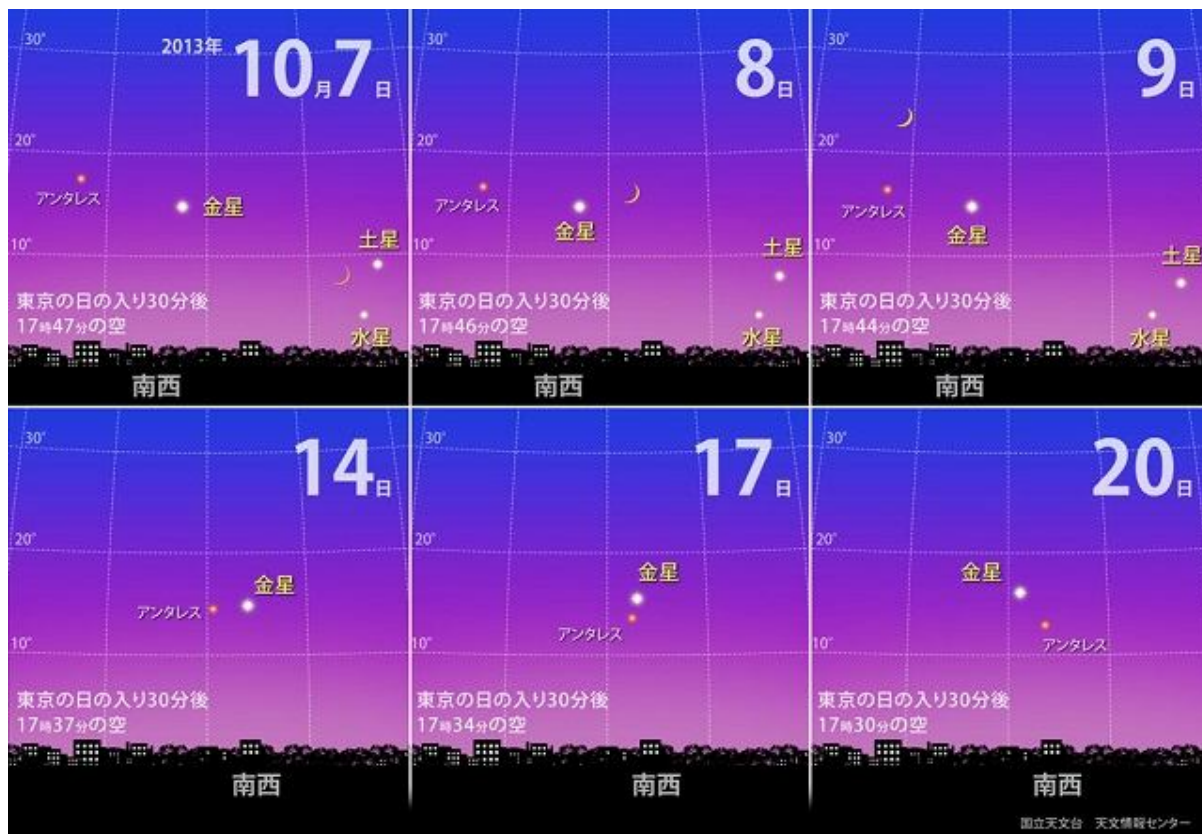
この辺りの天の川から少しずれた所には我々の銀河系と同じ数千億個の恒星を持つ銀河が無数に有ります（ほとんどが暗すぎる為には肉眼では見られませんが（全天何処にでも有りますが天の川等星が密集していない所の方が発見し易い））。

中秋の名月（十五夜）はあまりにも有名ですが、この10月17日には（十三夜）と言う名月を観賞する習わしがあります、十五夜を観賞する習わしはお隣中国から渡って来たも

のですが十三夜のお月見は日本独自の物の様です。(因みに十三夜と言うだけあって満月の二日前で多少左の方が欠けて見えます。)

又、お芋と栗が取れる時期にちなんで十五夜を芋名月、十三夜を栗名月とも呼ぶそうです。

日が暮れた秋の夕空は物悲しい気がしてきますが西の空を見ると、さそり座の主星アンタレスと金星、月、等が一日一日位置を変えながら姿をみせています。



世紀の彗星に成ると言われているアイソン彗星が再接近するまで後50日位、10月に入ってから順当に増光しているようで12等の様です。

肉眼で見られるのはもう少し早くなりそうです。(満月よりも明るくなると予想している所もあるので期待して待ちましょう。)

アイソン彗星のうごき(11月)

2013年11月23日 5時30分 東京の星空

東京の日の出	11月05日	6時06分
	11月15日	6時16分
	11月25日	6時26分

